

第67回全日本吹奏楽コンクール県大会 講評

審査員	課題曲			自由曲		
	技術	表現	講評	技術	表現	講評
池田 千瑞 (Per)	10	10	Percセクションの音色、イメージ、バランス、とても効果的でした。音色についても、よくこだわっている様子がうかがえました。各楽器によって旋律が前にずべていくことがあり、注意です。	10	10	これだけの音圧では、Tomが聴こえにくい。チューニングか、もしくはもっとしっかり打っても良いでしょう。パチも音圧のあるものを。鍵盤、打楽器ももう一段しっかり鳴らしても効果的でしょう。S.Dの響き線は、音が散らないよう、ホールサウンドはチェックしましょう。
織田 準一 (Tp)	9	9	とても柔らかくて、しかもしっかりとした音質のすばらしい演奏です。音楽の流れも自然でバッチリですよ。	9	9	表情たっぷりです。雰囲気のある見事な演奏です。フレーズの歌い方も、音楽的で説得力バツグンです。
蔭山 晶子 (Cl)	9	9	メロディーとリズムがずれる箇所があるので、よく聴き合ひましょう。速いテンポですが、すべて流れてしまうのではなく、確実にポイントを狙うように。Tuttiで鳴った時に、響きがするどく聴こえる時があるので、良い音色、良い響きを常に意識してください。	9	9	cresc.の時に乱暴にならないよう、豊かな響きをもって演奏しましょう。跳躍の多いメロディー一つ一つが分かれてしまわないよう、音から音へきれいにレガートでつなぐように心掛けて下さい。Tuttiで鳴った時に、各セクションの動きが見えづらく混沌するので、バランスを取り合っとうまくブレンドするようにしましょう。
斎藤 充 (Euph)	9	9	活気のあるよい演奏です。短い音への音色的配慮、伴奏の音色感と音量（音の遠近感）を工夫できるとさらに良かったと思います。いろいろな意味で、がまんができなかったような印象を受けました。細かい音符が言葉のように聴こえてくるとよいですね。そして、長いメロディーでは歌がもう少し感じられるとよいですね。	10	10	個々の高いレベルと丁寧な合奏で、よい演奏となっています。重圧な響きになっているのですが、f fでもどこを聴かせたいのか再考できそうです。少し音が飽和状態になっていました。こちらの曲では、丁寧な歌い方ができていました。少しfが攻撃的になることがありました。もう少し自分たちも聴き手にも余裕がある程度でよいのかもしれません。
野口 博司 (Fl)	9	9	編成大きいと音圧もすごいなあ！童唄もモンスター級になっちゃうのは、しかたないのかしら？	10	9	やはり大音量のパワーに圧倒されてしまい、耳が疲れてしまいました。皆さんの音楽への集中力とパワーに脱帽です。
東川 暁洋 (Tb)	10	10	「歌」もあり、メリハリもあり名演でした。素晴らしいです。	10	10	本当にすばらしい演奏です。この人数で、これだけまとまっているのは、脱帽です。無茶なのは承知で書きますが、全員の和声感がもっと寄ってくると完璧になると思います。
福井 健太 (Sax)	9	9	とても安定感のあるサウンドです。しかし大編成ならではのバランスの難しさはありますね。弱奏部は、工夫が必要だと思います。	10	9	どの音を聴かせるか、もう少しフォーカスできると楽曲の流れの演出しやすくなるのでは？木簡sect.はアーティキュレーションもう少しハッキリ表現できるといいですね。

No.	団体名	審査員A				審査員B				審査員C				審査員D				審査員E				審査員F				審査員G				計		
		課題		自由		課題		自由		課題		自由		課題		自由		課題		自由		課題		自由								
		技	表	技	表	技	表	技	表	技	表	技	表	技	表	技	表	技	表	技	表	技	表	技	表							
1	アンサンブル・ノーラ	6	7	6	7	7	8	7	8	6	6	6	8	7	8	8	8	8	9	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	148
2	吹奏楽団WEST	9	8	8	9	8	9	8	9	10	10	10	9	10	9	10	9	9	9	9	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	181
3	高松市吹	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	9	9	10	9	10	10	10	10	9	9	10	9	9	188	
4	TOK	7	7	8	7	8	9	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	9	9	8	8	9	9	9	9	8	8	7	6	158		

銅  
金・代表  
金・代表  
銀

※上下カット方式を採用しているため、総合得点は最高得点と最低得点の審査員評価を除いて集計されている。